

2019年3月1日

---

## 「VOCA展2019」特別協賛および VOCA受賞作品展「CONNECT VOCA！」開催について

---

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二)では、2019年3月14日(木)より開催される『VOCA(ヴォーカ)展 2019 現代美術の展望—新しい平面の作家たち』(主催:「VOCA展」実行委員会/公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館)に特別協賛します。

本展覧会は、将来性のある40歳以下の若手作家を対象に、平面美術の領域で国際的に通用する作家の育成・支援を目的として1994年より毎年開催している美術展です。これまでに、福田美蘭(1994年VOCA賞)、やなぎみわ(1999年VOCA賞)、蜷川実花(2006年大原美術館賞)、清川あさみ(2010年佳作賞)など多方面で活躍している作家らが受賞しており、近年では若手作家の登竜門として高く評価されています。

第26回となる今回の展覧会では新進気鋭の作家33名(組)が出品し、VOCA賞(1点)、VOCA奨励賞(2点)、佳作賞(2点)、大原美術館賞(1点)が決まりました。展覧会、受賞および出品作品の詳細については別紙をご参照ください。

当社は、社会貢献活動の一環として、「VOCA展」を主催者とともに立ち上げ1994年の第1回より支援を継続しています。受賞作品の一部を収蔵し、日比谷本社1階のロビー・第一生命ギャラリー等で公開、さらに同ギャラリーで受賞作家の個展を開催するなど、展覧会後の活動も後押しすることで若き芸術家を支援しています。

本展の会期に合わせ、第一生命ギャラリーでは3月1日より「CONNECT VOCA！」を開催します。

VOCA展に関連する皆さまのご協力をいただき、大原美術館(岡山県)所蔵の蜷川実花作品を含む大原美術館賞4点、当社所蔵の3点を展示します。また、同ビル1Fロビーでは当社所蔵の作品17点を展示していますので、合わせてご鑑賞ください。

以上

## 「VOCA展 2019」概要

- ◆名称 「VOCA 展 2019 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」
- ◆主催 「VOCA 展」実行委員会、公益財団法人日本美術協会 上野の森美術館
- ◆特別協賛 第一生命保険株式会社
- ◆会場 上野の森美術館(東京都台東区上野公園1-2) <http://www.ueno-mori.org/>
- ◆会期 2019年3月14日(木)~3月30日(土)[会期中無休]
- ◆開館時間 10:00~18:00 (入場は閉館30分前まで) ※3月21日(木祝)は13:00開館
- ◆入場料 一般600(500)円、大学生500円、高校生以下無料 ※( )は前売料金
- ◆チケット チケットぴあ(Pコード:769-450)、ローソンチケット(Lコード:31777)、e+(イープラス)・スマチケ、CNプレイガイド、楽天チケット、主要コンビニ店頭などで発売 ※手数料がかかる場合があります
- ◆推薦委員 「VOCA 展」実行委員会から選出された全国の美術館学芸員、研究者、ジャーナリストなどに、作家1名の推薦を依頼
- ◆出品作家
  - ・推薦委員の推薦に基づき、「VOCA 展」実行委員会より依頼した作家、国籍不問
  - ・1978年4月1日以降生まれ(40歳以下) ※同展会期中(2019年3月)に40歳以下であること
  - ・過去25回開催した「VOCA 展」の出品作家(受賞者含む)も可
- ◆出品作品
  - ・平面作品
  - ・抽象、具象、素材は問わない
  - ・出品時からさかのぼって1年以内に制作された、未発表の作品
  - ・作品サイズは、250cmx400cm以内の壁面(タテ形、ヨコ形は不問)に展示できるもの
  - ・作品単体のサイズ(輸送時)は、250cmx200cm以内とし、複数の作品、パネル等のジョイントにより250cmx400cm以内の壁面に展示できるものとする  
例:250cmx200cmのパネル2枚を会場でジョイントして250cmx400cmとすることは可  
250cmx400cmの巻キャンパスと木枠を会場で組み立てることは不可
  - ・作品の厚さは、20cm以内
  - ・作品の重量は、総重量80kg以内、個々で40kg以内
  - ・展示会場で制作および長時間の展示作業を必要としない完成作品  
複数の作品もしくは部分で構成される場合は明確な展示図面、指示書を提出すること
  - \* 展示に支障をきたす作品は不可
  - \* 作品は第三者の権利(著作権、肖像権など)を侵害しないこと
  - \* 作品が出品規定を満たしているかの最終的な判断は主催者に委ねられる
  - \* 作品の展示場所は、主催者側の判断で決める
  - \* 展示壁面の高さは、250cm~500cm(展示室によって異なる)
- ◆選考委員
  - 島 敦彦 (選考委員長/金沢21世紀美術館館長)
  - 光田 由里 (DIC川村記念美術館学芸課長)
  - 柳沢 秀行 (大原美術館学芸課長)
  - 小勝 禮子 (美術史・美術批評)
  - 水沢 勉 (神奈川県立近代美術館館長)
- ◆賞
  - VOCA 賞 1名 正賞および副賞(300万円)
  - VOCA 奨励賞 2名 正賞および副賞(50万円)
  - 佳作賞 2名 正賞(10万円)
  - ※上記3賞は、選考委員が選考します
  - ※選考により、「該当者なし」のこともあります
  - ※VOCA賞は、第一生命保険株式会社の収蔵作品となります
  - 大原美術館賞 1名 正賞および副賞
  - ※大原美術館賞は、館の代表者がVOCA賞、VOCA奨励賞以外から選定し、作者の了解のもと、同館の収蔵作品となります
  - ※上記4賞(最大6名)の入賞者には、第一生命ギャラリーでの個展の機会が与えられます

■第一生命保険株式会社は、VOCA展の運営サポートを行うほか、一部受賞作品を買い上げ、本社1階にあるロビーや、本社に開設しているギャラリーで作品の定期的な公開を行っています。また、受賞者による同ギャラリーでの個展も随時開催しています。

## 「VOCA 展 2019」受賞作品

## 【VOCA 賞】



東城 信之介(とうじょう しんのすけ)  
 「アテネ・長野・東京ノ壁ニアルデアロウ模写」  
 錆・顔料・油彩・アクリル・ステンシル・転写、銅板  
 [230cm×369cm]

## 【VOCA 奨励賞】



石場 文子(いしば あやこ)  
 「2と3、もしくはそれ以外(祖母の家)」  
 インクジェットプリント、額  
 [107cm×76.8cm が 4 枚]



チョン・ユギョン  
 「Let's all go to the celebration square of victory!」  
 アクリル、カンヴァス  
 [223cm×330cm]

## 【佳作賞】



遠藤 薫(えんどう かおり)  
 「ウエス」  
 雑巾  
 [240cm×390cm]



目(荒神 明香/こうじん はるか、南川 憲二/みなみがわ けんじ、増井 宏文/ますい ひろふみ)  
 「アクリルガス」  
 樹脂・アクリル他  
 [φ170cm]

## 【大原美術館賞】



喜多村 みか(きたむら みか)  
 「TOPOS」  
 インクジェットプリント  
 [120cm×180cm が 2 枚]

## 「VOCA 展 2019」出品作品一覧[作家 33 人(組) / 50 音順]

作家名	生年	現住所	作品タイトル	素材
新井 卓	1978	神奈川県川崎市	第五福竜丸(乗組員の布団)のモニュメント: A.<乗組員の布団)の多焦点モニュメント B.第五福竜丸元乗組員・大石又七のモニュメント C.第五福竜丸元乗組員・大石又七	ダゲレオタイプ、圧力測定フィルム、アクリル、液晶ディスプレイ、映像、ヘッドフォン
石垣 渉	1979	北海道札幌市	雪上の轍(わだち) ~その先へ~	紙・透明水彩・不透明水彩・紙粉・膠・アルミ箔
石場 文子	1991	愛知県名古屋市	2と3、もしくはそれ以外(祖母の家)	インクジェットプリント、額
遠藤 薫	1989	ベトナム・ハノイ	ウエス	雑巾
大平 由香理	1988	大分県別府市	廻生	顔料・箔他、パネル
尾角 典子	1979	イギリス・ロンドン	From where you are	水彩・糊・ワックス絵具・レーザープリント・紙
岡本 高幸	1978	大阪府東大阪市	Transient Microscopic Nova #16 Transient Microscopic Nova #17 Transient Microscopic Nova #18	アーカイバル・ピグメント・プリント、アルミニウム
片山 達貴	1991	京都府京都市	つなぎ目から 祖母と/ 祖父と/ 祖父と/ 祖母と/ 父と/ 兄と/ 母と	写真インクジェットプリント、額(アッシュ材・ガラス板)
喜多村 みか	1982	東京都杉並区	TOPOS	インクジェットプリント
金城 徹	1979	沖縄県那覇市	あなたのたつところ	ミクストメディア
クスマ エリカ	1982	北海道札幌市	Metropolis	ライトジェットプリント(アクリルマウント)
KOURYOU	1983	東京都足立区	足もとのスプリット・デバイス(アプリ版「キツネ事件簿」開発に向けた設計図、模型)	①板・針金・ウレタン樹脂・ポリエステルパテ・アクリル板・布・プラスチック・水彩・アクリル・ペン他 ②パネル・紙、水彩・アクリル・ペン他
近藤 恵介	1981	佐賀県佐賀市	“わ”と書いて、つぎに“た”、つづけて“し”はシュツとスナップをきかせる――すべて鉛筆で――翌朝に“と”をペンでゆっくり紙にインクをしみこませるようにひき、その日の晩に“そ”を蛍光ペンでなげやりにかく、“の”と“状”は目をつぶる前にベッドで寝そべて指で宙になぞった、その 2 年後に“況”を画きはじめたが 1 年はかかるだろう	①岩絵具・水干・膠・鳥の子紙・糊・木・石・釘 ②墨・絹・テープ・木材 ③岩絵具・水干・膠・墨・鳥の子紙・その他紙・木材 ④岩絵具・膠・染料・墨・ペン・薄美濃紙・テープ・ガラス板 ⑤岩絵具・水干・膠・墨・板 ⑥岩絵具・水干・膠・墨・金箔・鳥の子紙・糊・木製パネル・釘 ⑦水干・膠・アクリル板・墨・鳥の子紙・糊・木材・ねじ・釘
笹山 直規	1981	滋賀県大津市	Lines of Death	油彩、カンヴァス
佐野 直	1987	熊本県熊本市	icon	アクリル・油彩、綿布・パネル
白井 晴幸	1981	東京都杉並区	panoramas	ピグメントプリント
鈴木 諒一	1988	東京都北区	窓辺 #02/ 窓辺 #10-1/ 窓辺 #10-2	モニター、映像、ライトジェットプリント
関川 航平	1990	東京都足立区	歌につれ	積木
滝沢 広	1983	埼玉県さいたま市	Arrangement	インクジェットプリント(pvcシート)・レジン・アクリル・木材
多田 友充	1979	青森県弘前市	存在するということ(祝福と永遠の瞬間)	アクリル、カンヴァス
蟹 恒太郎	1981	京都府京都市	キャバレーへ	油彩・紙、カンヴァス
田中 真吾	1983	滋賀県大津市	re:trans-lation	木材(ベニヤ板・角材)
田中 武	1982	福岡県豊前市	花のたとえ、嵐のたとえ	アクリル、高知麻紙
チョン・ユギョン	1991	韓国・京畿道	Let's all go to the celebration square of victory!	アクリル、カンヴァス
手嶋 勇氣	1989	広島県広島市	ある景色	油彩、綿
東城 信之介	1978	神奈川県相模原市	アテネ・長野・東京ノ壁ニアルデアロウ模写	銅・顔料・油彩・アクリル・ステンシル・転写、鋼板
中島 麦	1978	大阪府茨木市	luminous dropping	アクリル、カンヴァス
中山 明日香	1986	兵庫県神戸市	eruption	油彩、カンヴァス
西村 有	1982	神奈川県横須賀市	アラバスク 花	油彩、カンヴァス アクリル、カンヴァス
堀 至以	1988	石川県金沢市	shuttles (F [flower]) / shuttles (E [ear])	油彩、カンヴァス
三家 俊彦	1979	ドイツ・ベルリン	Dream #4	ステンレススチール
三輪 恭子	1982	神奈川県横浜市	ハッピーマーク・ドローイング	ペン・パステル、紙
(荒神明香)	1983			
目 (南川憲二)	1979	埼玉県北本市	アクリルガス	樹脂・アクリル他
(増井宏文)	1980			

# CONNECT



2006 大原美術館賞 蛭川実花 《the otherside》

2019.3.1 fri. - 4.19 fri.



2018 VOCA賞 碓井ゆい 《our crazy red dots》

第一生命ギャラリー 入場無料  
平日 12時 - 17時 ※金曜は19時まで開館、祝日・土日は休み

VOCA!

VOCA!

CONNECT

# CONNECT

一生涯のパートナー

第一生命

Dai-ichi Life Group



2016 VOCA 奨励賞 谷原菜摘子《穢土(えど)》



2013 大原美術館賞 佐藤翠《Reflections of a closet》



2010 佳作賞・大原美術館賞  
齋藤芽生《密愛村 ~Immortalville》

## 2019.3.1 fri. - 4.19 fri.

第一生命はお客様、地域、社会との“CONNECT”<sup>つながり</sup>を大切に、ともに成長することを目指しています。本展はVOCA作家、上野の森美術館、大原美術館(岡山県)との“CONNECT”、ご協力により実現しました。第一生命が所蔵するVOCA賞・VOCA奨励賞作品に加え、大原美術館が所蔵するVOCA展大原美術館賞作品により構成されます。当ギャラリーでの大原美術館賞の作品展示は初めてとなります。

期間中、同ビル1Fロビーでは、VOCA受賞作品17点を公開します。  
(土日休含む8~20時)

### VOCA展\*と第一生命

VOCA(ヴォーカ)展は、平面美術の領域で高い将来性のある40歳以下の作家を奨励する展覧会で、今日では若手作家の登竜門として高い評価をいただいています。第一生命は協賛企業として1994年の創設に関わり、受賞作品の収蔵・展示、第一生命ギャラリーでの受賞作家個展開催など幅広い支援を継続しています。 \*The Vision of Contemporary Art 現代美術の展望—新しい平面の作家たち



2010 VOCA 奨励賞  
中谷ミチコ  
《そこにあるイメージI》  
《そこにあるイメージII》



2005 大原美術館賞 鯉江真紀子《Untitled (P-37)》



### 第一生命ギャラリー

東京都千代田区有楽町1-13-1

第一生命本社1F

JR有楽町駅より徒歩2分/東京メトロ日比谷線、

千代田線、都営地下鉄三田線日比谷駅より徒歩1分

東京メトロ有楽町線有楽町駅より徒歩1分

\*地下鉄出口はB1、B2

問い合わせ

第一生命保険株式会社 DSR 推進室

Tel: 050-3780-4984

同時開催 | VOCA展2019 上野の森美術館 3月14日(木) - 30日(土)

# VOCA!